



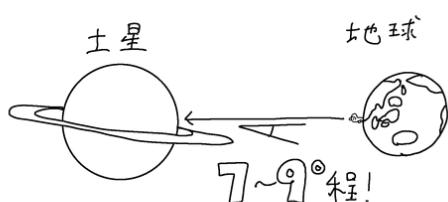
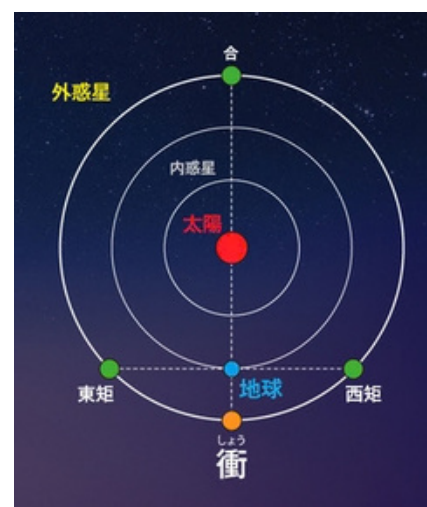
第一号

2026年10月19日発行

約15年周期、超細い土星の輪!

実は見やすさが変化する土星の輪

2026年10月4日に「衝（しょう）」を迎えました。日本時間では10月4日21時29分ごろです。衝とは、太陽—地球—土星の順にほぼ一直線に並ぶ状態です。ほぼ一晩中観察できるうえ、地球にも比較的近く、明るく見える時期です。2026年10月～2027年2月までは十分に見ることができます。ただ見やすさはだんだん下がってしまうため、よく見たい人には早めに観察することをおすすめします!



土星の輪は実は年によって見え方が変わって土星と地球の位置関係によって、大きく開いた環→細い環→ほぼ一直線→再び開くという変化を繰り返しているんです。土星は太陽を約29.5年で1周するので、環をほぼ真横から見る時期は約15年に一度やってきます。輪の角度はたった7度程で輪の観察には望遠鏡が必須となります。